

湖南の丘で平成10年に生まれました

島津口地区の紹介



島津口地区は溝川区より分かれて、旧網野町時代に生まれた地区なので、町の中心網野側から見た感覚でこのような相対的な名称になっています。

世帯戸数：172戸 人数：447人
島津地区からの移住世帯は約30戸ほどか
と思います。

現在の島津口に早くから移住された方々
昭和46年～47年ごろ、島津地区の有志団体により西部の原野を開拓され、当時において多くの若い世代が地区内外から移住・定住されました。マップにあります中央府道より上部（北側）の周辺より造成されました。今では大がかりな造成工事と言えば公共事業しかありませんが、この工事は地域の方々が行いました。地域の若者が土地、住宅を求めている時代にこの大事業に取り掛かりました。後には、府道より南側でも造成が始まり東西に広がって住宅が建ちこんできました。また、この宅地セールは丹後に及ばず、京阪神市内の方々にも展開され、別荘なり、定住含め多方面より新天地を求めてやって来ました。現在、国を挙げて地方創生を行っている「移住・定住促進事業」を小村の民間有志団体が敢行したのです。元々、島津地区は過去より移住者が多い地区でもあり、移住者がまた次の移住者を呼ぶ・・・という連鎖が効果を出したのではと思われます。

新天地を求めて

町内のある地区から土地を求めて昭和48年に移住されたY氏を訪ねました。宅地を求めてから3年以内に住宅を立てるという条件付きであったので、数年の間に一気に住宅が立て混んだと言います。家を建てるわけですので、当然既婚者がほとんどで子供も小学生以下であった同世代の人たちがほとんどであったと話されます。この主人も小学4年生の子供さんを連れてこの地に住みついたと話されます。その子供さんも54歳になって居られるとか。最初は隣りにどんな人が来るのだろうかと不安な思いでいっぱいであったと話されます。



個人のお宅でのイルミネーション